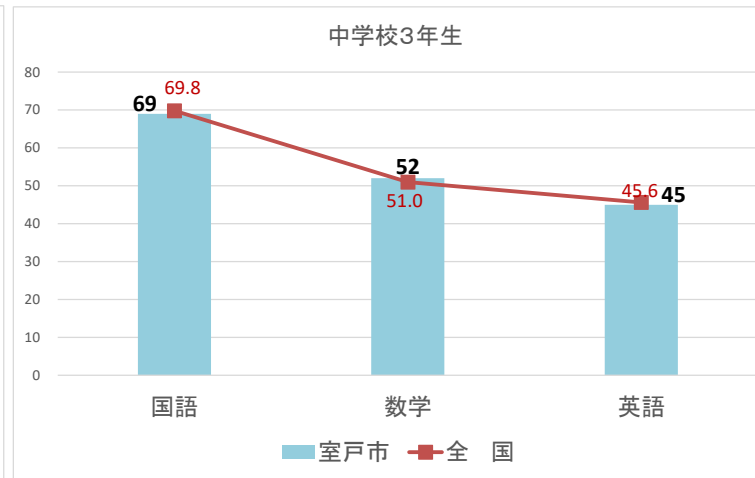
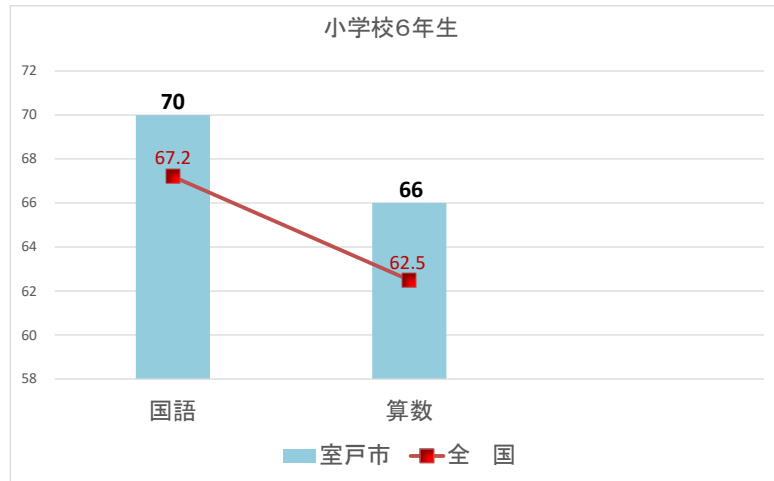


室戸市の子どもたちの「令和5年度 全国学力・学習状況調査結果」について

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力や学習の状況を把握し、学校での授業改善に活用したり、家庭等と協力して子どもたちの生活を見直したりする目的で実施されています。

今年度は国語、算数・数学、英語の3教科と質問紙調査が実施されましたので、室戸市の子どもたちの結果についてお知らせします。

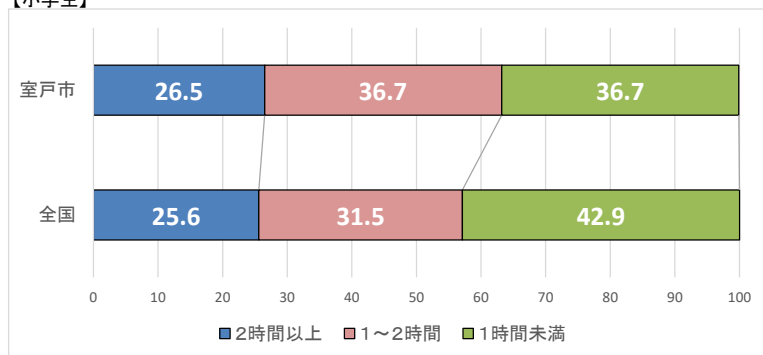
各教科の調査結果について



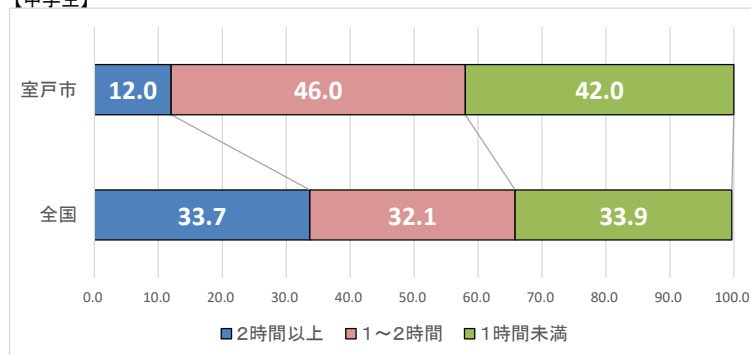
質問紙調査について(抜粋)

平日の家庭学習時間について(学習塾、家庭教師、インターネットでの学習を含む)

【小学生】

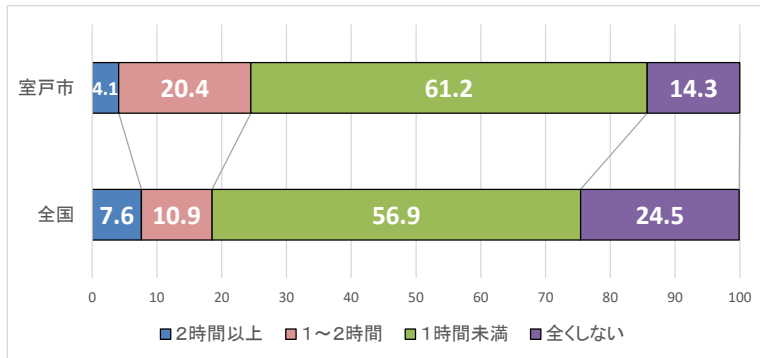


【中学生】

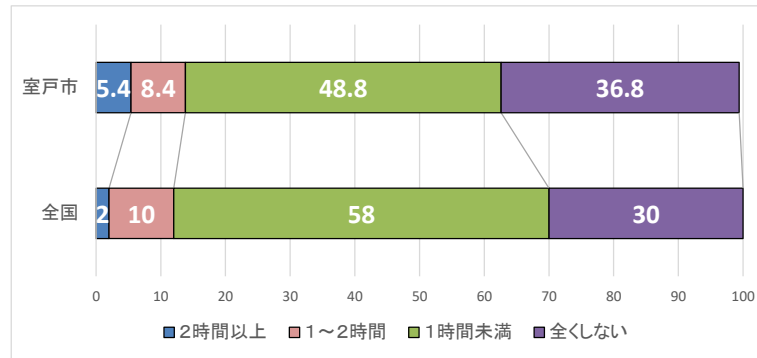


平日の読書時間(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌以外)

【小学生】



【中学生】



各教科の調査結果では小学校は国語、算数ともに全国平均を上回る結果となりました。中学校についても国語、数学、英語ともに全国平均とほぼ同等の結果となっております。各学校が学力調査の結果等を踏まえ、子どもたちに育成すべき資質・能力を明確にした校内研修や授業改善に組織的に取り組んできた成果であると言えます。

質問紙調査からは室戸市内の中学3年生の平日2時間以上の家庭学習の割合が全国と比較すると少ないことが分かります。また、平日の読書時間が1時間以上の割合は、小学6年生、中学3年生とも全国より多いですが、平日に読書をしない子ども達も一定の割合で見られます。

これからも保育所、小学校、中学校の連携教育の推進及び各学校での日々の授業改善や家庭学習の更なる充実に向けた取り組みを通して室戸市の子どもたちの学力向上につなげていきます。